2026年度 第7回（12月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

1　放送文

No.1

Man: Excuse me. How can I get to the City Museum?

Woman: Go straight on this street and turn left at the second corner. You'll see it on your right.

Man: Go straight and turn left at the second corner. Thank you very much.

Question: Where is the City Museum?

（訳）男性：すみません。市立博物館へはどう行けばいいですか。／女性：この道をまっすぐ行って、2つ目の角を左に曲がってください。右側に見えますよ。／男性：まっすぐ行って、2つ目の角を左ですね。どうもありがとうございます。
質問：市立博物館はどこにありますか。

No.2

Tom: Kana, who is the woman in this photo? She's wearing a red hat.

Kana: Oh, that's my aunt. She's my mother's sister.

Tom: Does she live with you?

Kana: No. She lives in Osaka with my cousin. They came to see us last summer.

Question: Who is the woman wearing a red hat?

（訳）トム：カナ、この写真の女の人はだれ？赤いぼうしをかぶっているね。／カナ：ああ、わたしのおばよ。母の妹なの。／トム：きみたちといっしょに住んでいるの？／カナ：ううん。大阪に、いとこといっしょに住んでいるわ。去年の夏に会いに来てくれたの。
質問：赤いぼうしをかぶっている女の人はだれですか。

No.3

Sota: Mom, let's order. I'm hungry. What do you want?

Mom: I'll have a sandwich and an orange juice.

Sota: OK. I'll have a salad and a cake.

Mom: Is that all?

Sota: Yes. Let's order now.

Question: How much will they pay in total?

（訳）ソウタ：お母さん、注文しよう。おなかがすいたよ。何がほしい？／母：サンドイッチとオレンジジュースにするわ。／ソウタ：わかった。ぼくはサラダとケーキにするよ。／母：それで全部？／ソウタ：うん。さあ、注文しよう。
質問：2人は合計でいくら払いますか。

No.4

Aya is carrying a heavy bag to the classroom. Her friend Ken sees her and carries the bag for her. Aya wants to thank him.

Question: What will Aya say to Ken?

（訳）アヤは重いかばんを教室へ運んでいます。友だちのケンが見つけて、かばんを運んでくれます。アヤは彼にお礼を言いたいと思います。
質問：アヤはケンに何と言うでしょうか。

No.5

Lucy is at a restaurant in Japan with her host mother. It is her first time to eat there, and she doesn't know what is good. She asks the waiter for his advice.

Question: What will Lucy say to the waiter?

（訳）ルーシーはホストマザーと日本のレストランにいます。ここで食べるのは初めてで、何がおいしいのかわかりません。彼女はウェイターにおすすめをたずねます。
質問：ルーシーはウェイターに何と言うでしょうか。

No.6

Hello, everyone. This is Ms. Wood. I have some news about our school trip. Next Thursday, our class will visit the Science Museum. We will go there by bus. The bus will leave school at eight forty. In the museum, you can make a small robot with your friends. Please bring a notebook and a pen, because you will write a report after the trip. We will eat lunch in the park near the museum. I hope you will enjoy it.

Question 1: How will the students go to the Science Museum?

Question 2: What can the students do in the museum?

Question 3: What should the students bring?

（訳）みなさん、こんにちは。ウッドです。遠足についてお知らせがあります。来週の木曜日、わたしたちのクラスは科学館を訪れます。そこへはバスで行きます。バスは8時40分に学校を出ます。科学館では、友だちといっしょに小さなロボットを作ることができます。遠足のあとにレポートを書くので、ノートとペンを持ってきてください。昼食は科学館の近くの公園で食べます。楽しんでくれるといいなと思います。

質問1：生徒たちはどうやって科学館へ行きますか。

質問2：生徒たちは科学館で何をすることができますか。

質問3：生徒たちは何を持ってくるべきですか。

No.7

Lucy: Hi, Hiro. You look happy today.

Hiro: Yes. I went to Mt. Takao with my brother last Sunday.

Lucy: Oh, did you walk up the mountain?

Hiro: We wanted to, but my brother's foot hurt, so we took a cable car. It took only six minutes.

Lucy: How was the view?

Hiro: Beautiful! We could see Mt. Fuji from the top. We ate rice balls there.

Lucy: Sounds fun. I want to go there, too.

Hiro: Then let's go together next month.

Lucy: Great! I'm looking forward to it.

Question 1: How did Hiro and his brother go up the mountain?

Question 2: What did they eat at the top?

Question 3: When will Lucy and Hiro go to the mountain together?

（訳）ルーシー：こんにちは、ヒロ。今日はうれしそうね。／ヒロ：うん。先週の日曜日に弟と高尾山に行ったんだ。／ルーシー：まあ、山を歩いて登ったの？／ヒロ：そうしたかったけど、弟の足が痛くなったから、ケーブルカーに乗ったよ。6分しかかからなかった。／ルーシー：景色はどうだった？／ヒロ：きれいだったよ！山頂から富士山が見えたんだ。そこでおにぎりを食べたよ。／ルーシー：楽しそう。わたしもそこへ行きたいな。／ヒロ：じゃあ来月いっしょに行こう。／ルーシー：いいわね！楽しみにしているわ。

質問1：ヒロと弟はどうやって山に登りましたか。

質問2：2人は山頂で何を食べましたか。

質問3：ルーシーとヒロはいつ、いっしょに山へ行きますか。

1　No.1（2点）

ウ

答え: ウ

・男性は「市立博物館への行き方」をたずねている。女性は "Go straight on this street and **turn left at the second corner.** You'll see it **on your right.**" と答えている。

・まっすぐ進み、**2つ目の角を左**（北）に曲がると、**右側**に見える建物はウ。

・ア：1つ目の角を左に曲がったときの右側。イ：1つ目の角を右に曲がったときの左側。エ：2つ目の角を右に曲がったときの左側。

・道案内は、「何番目の角か」「右か左か」「建物が右・左のどちら側か」を順に聞き取る。

1　No.2（2点）

イ

答え: イ

・Kana は "that's my aunt. She's **my mother's sister.**" と言っている。母の妹は**おば**（aunt）。

・ア（母）や ウ（祖母）とは言っていない。エ（cousin）は、おばといっしょに大阪に住んでいる**いとこ**で、写真の女の人ではない。

・家族の関係は、"my mother's sister"（母の姉妹）のような言い換えから、aunt／uncle／cousin などを聞き分ける。

1　No.3（2点）

ウ

答え: ウ

・Mom は "a sandwich and an orange juice"、Sota は "a salad and a cake" を注文する。

・表の値段より、sandwich 300円＋orange juice 150円＋salad 250円＋cake 400円＝**1,100円**（ウ）。

・ア（700円）は cake を足し忘れた場合。イ（850円）は salad を足し忘れた場合。エ（1,200円）は表にない計算。

・値段は、**だれが何を頼んだか**を整理してから、表を見て合計する。

1　No.4（2点）

ア

答え: ア

・Aya は、重いかばんを運んでくれた Ken に**お礼**を言いたい。お礼の決まり文句は **Thank you for your help.**（手伝ってくれてありがとう）。

・イ（それはお気の毒に）、ウ（よい週末を）は場面に合わない。エ（どういたしまして）は、お礼を言われた側が返す言葉。

1　No.5（2点）

ア

答え: ア

・Lucy は**何がおいしいか分からず**、ウェイターに**おすすめ**をたずねる。おすすめをたずねる言い方は **What do you recommend?**。

・イは値段、ウは水をたのむ言い方、エはお手洗いの場所をたずねる言い方で、場面に合わない。

1　No.6 (1)（3点）

イ

答え: イ

・"We will go there **by bus.**" より。by ＋ 乗り物で「〜で（行く）」。

・train・bike・on foot は話に出てこない。

1　No.6 (2)（3点）

ア

答え: ア

・"In the museum, you can **make a small robot** with your friends." より。

・イ（レポートを書く）は遠足の**あと**にすること。ウ（昼食）は公園で食べる。エ（絵をかく）は話に出てこない。

1　No.6 (3)（3点）

ウ

答え: ウ

・"Please bring **a notebook and a pen**, because you will write a report after the trip." より。

・ロボットは科学館で作るもの、バスは乗るもの。カメラ（ア）の話は出てこない。

1　No.7 (1)（3点）

イ

答え: イ

・Hiro は "we took **a cable car**" と言っている。弟の足が痛くなったので、歩く（ア）のはやめた。

・"did you walk up the mountain?" は Lucy の質問で、Hiro はそれを否定している。

1　No.7 (2)（3点）

ア

答え: ア

・"We could see Mt. Fuji from the top. We ate **rice balls** there." より。there は山頂（the top）。

・サンドイッチ・麺・アイスクリームは話に出てこない。

1　No.7 (3)（3点）

month

答え: month

・Hiro の "Then let's go together **next month**." より。

・最初の Hiro の話の "last Sunday"（先週の日曜日）は、すでに行った日。これから行くのは next month。

2　問1（2点）

town

答え: town

・日本語のメモ「わたしたちの**町**では、毎年12月に冬祭りを開きます」に対応。

・"Our (town) has a winter festival" ＝「わたしたちの町では冬祭りがあります」。

・地域を表す語：町 town／市 city／村 village／国 country。「町」は town。

2　問2（2点）

ア（to）

答え: ア (to)

・日本語のメモ「午前10時**から**午後3時**まで**」に対応。

・"open from ten in the morning (to) three in the afternoon" ＝「午前10時から午後3時まであいている」。**from A to B** で「AからBまで」。

・at は時刻の一点、on は曜日・日付、by は「〜までに（期限）」で、from 〜 と組み合わせない。

2　問3（2点）

ア（every year）

答え: ア (every year)

・日本語のメモ「**毎年**12月に冬祭りを開きます」に対応。「毎年」は **every year**。

・"has a winter festival (every year) in December" ＝「毎年12月に冬祭りがあります」。

・last year（去年）、yesterday（昨日）、next week（来週）は、毎年くり返すことを表さない。

2　問4（2点）

ア（Bring）

答え: ア (Bring)

・日本語のメモ「自分のカップを**持ってきてください**」に対応。相手に頼む・指示する文は**命令文**で、**動詞の原形**で文を始める。

・"(Bring) your own cup, please." ＝「自分のカップを持ってきてください」。please を付けるとていねいになる。

・Brought（過去形・過去分詞）、To bring、Bringing では命令文にならない。

2　問5（2点）

help

答え: help

・日本語のメモ「当日、わたしたちを**手伝って**くれませんか」に対応。「手伝う」は **help**。

・"Can you (help) us on that day?" ＝「当日、わたしたちを手伝ってくれませんか」。Can you 〜? は相手にお願いする言い方。

・help は〈help ＋ 人〉で「（人）を手伝う」。

2　問6（3点）

ア（also）

答え: ア (also)

・日本語のメモ「ゲームコーナー**も**あります」に対応。すでに言ったことに「〜も」と付け加えるときは **also**。

・"There is (also) a game corner." ＝「ゲームコーナーもあります」。also は be動詞のあと（一般動詞の前）に置く。

・only（〜だけ）、very（とても）、never（決して〜ない）では、メモの内容と合わない。

2　問7（4点）

（解答例）I'm sorry, but I can't come to the party. I have to clean the park after the festival.

解答例: I'm sorry, but I can't come to the party. I have to clean the park after the festival.
訳: 申し訳ありませんが、パーティーには行けません。祭りのあとに公園をそうじしなければならないのです。
採点ポイント:
・語群（sorry / can't / clean）から1語以上使用
・1文目＝さそいを**断る**文（**I'm sorry, but I can't 〜.** の形が書きやすい）
・2文目＝**理由**（I have to 〜 / I must 〜 / I'm going to 〜 など）。片づけを手伝うことが伝わっていること
・全体で2文
・文法・スペルの正確さ

3　問1（3点）

C

答え: C
・補う文: **Because the fish are back, many people in our town now come to the river on weekends.**（魚が戻ってきたので、町の多くの人が今では週末に川に来ます）
・**the fish are back**（魚が戻った）と now（今では）は、川がきれいになって魚が戻ってきた**あと**の様子。C の直前の文で魚が戻ったことが述べられ、その結果として人が集まるとつながる。
・A の時点では、川の変化も魚の話もまだ出ていないので、"the fish" や now が使えない。B の前は、川がよごれていて人が近づかなかったころの話で、"nobody wants to go near it" と矛盾する。

3　問2（4点）

2番目=イ（gave）・4番目=ウ（some）

答え: 2番目 = イ (gave), 4番目 = ウ (some)
・正しい語順: **she gave us some tea** → "After the work, **she gave us some tea**."
・1: she (エ) / 2: gave (イ) / 3: us (ア) / 4: some (ウ) / 5: tea (オ)
・**give ＋ 人 ＋ 物**（SVOO）で「(人）に（物）をあげる」。人（us）が先、物（some tea）があとにくる。
・**訳:** 作業のあと、彼女はわたしたちにお茶をくれました。

3　問3（2点）

ウ（living）

答え: ウ (living)
・文の動詞は talked（話しかけた）。空所は an old man を**後ろから説明**する部分で、「川の近くに**住んでいる**おじいさん」の意味になる。
・"An old man (living) near the river" ＝「川の近くに住んでいる男性」。〈名詞 ＋ **〜ing** ＋ 語句〉で、「〜している（名詞）」と後ろから説明できる（分詞の後置修飾）。
・live・lives・lived では、talked と動詞が2つ並んでしまい、文にならない。

3　問4（4点）

②=イ（has）・③=ア（have）

答え: ② イ (has), ③ ア (have)

・どちらも already（もう）、just（ちょうど）と使う**現在完了（完了）**。形は **have［has］＋ 過去分詞**。

・② 主語は the river（3人称単数）なので **has**。"The river has already become clean" ＝「川はもうきれいになりました」。

・③ 主語は small fish（複数）なので **have**。"small fish have just come back" ＝「小さな魚がちょうど戻ってきたところです」。

・is・was では、あとの become・come（過去分詞）と合わない。

3　問5（2点）

ウ（happy）

答え: ウ (happy)

・よごれていた川がきれいになり、魚が戻ってきたのを見たときの気持ち。「うれしい」は **happy**。

・"I was so (happy) when I saw them." ＝「それらを見たとき、わたしはとてもうれしかった」。

・sleepy（ねむい）、afraid（こわがって）、angry（おこって）は、魚が戻った場面の気持ちとして合わない。

3　問6（3点）

イ

答え: イ

・"After the work, she gave us some tea." の she は the old man's wife。作業のあと、お茶をもらった（イ）。

・ア：Hana が川そうじに参加するのは毎週ではなく every first Sunday（毎月第1日曜日）。

・ウ：おじいさんは「今は川に近づく人がいない」と言っており、今も川で遊んでいるとは書かれていない。

・エ：Hana はおじいさんの話を聞いて悲しく（sad）なり、何かしようと決めた。おこってはいない。

4　問1（3点）

イ

答え: イ

・Yuka の "My family keeps water, food, and a flashlight in a bag by the door." より、非常時のための物を、かばんに入れて置いている（イ）。

・ア：Daichi は訓練が a little long（少し長かった）と言っている。

・ウ：Ms. Taylor は "I'll make one, too."（わたしも作ります）と言っており、まだ作っていない。

・エ：地震がいつ来るかは分からない（we never know when）と言っているだけで、来週来るとは言っていない。

4　問2（4点）

2番目=ア（for）・4番目=イ（to）

答え: 2番目 = ア (for), 4番目 = イ (to)

・正しい語順: **important for us to practice** → "It is **important for us to practice** together."

・1: important (ウ) / 2: for (ア) / 3: us (エ) / 4: to (イ) / 5: practice (オ)

・**It is 〜 for 人 to …** は「(人）が…することは〜だ」。It は形式上の主語で、本当の主語は to 以下。〈for ＋人〉は to 不定詞の前に置く。

・**訳**: わたしたちがいっしょに練習することは大切です。

4　問3（3点）

ウ（are making）

答え: ウ (are making)

・Look!（見て！）と now（今）から、**いま行われている動作**とわかる。いま〜している、は**現在進行形**（be動詞 ＋ 〜ing）。

・主語は students（複数）なので are。"Some first-year students (are making) a map of our town now." ＝「1年生が何人か、いま町の地図を作っています」。

・make（原形）、made（過去形）、will make（未来）は、now と合わない。

4　問4（3点）

ア（example）

答え: ア (example)

・前の文で「町の安全な場所を示している」と言い、あとで学校の体育館や川のそばの公園という**具体的な場所**を挙げている。

・「たとえば」は **for example**。"For (example), the gym of our school is a shelter" ＝「たとえば、学校の体育館は避難所です」。

・reason（理由）、question（質問）、time（時間）では for 〜 の形で「たとえば」の意味にならない。

4　問5（4点）

2番目=エ（the）・4番目=オ（shelter）

答え: 2番目 = エ (the), 4番目 = オ (shelter)

・正しい語順: **where the nearest shelter is** → "Do you know **where the nearest shelter is**?"

・1: where (ウ) / 2: the (エ) / 3: nearest (ア) / 4: shelter (オ) / 5: is (イ)

・know のあとに疑問文が入る**間接疑問**では、〈疑問詞 ＋ 主語 ＋ 動詞〉の語順になる（× where is the nearest shelter）。

・**訳**: いちばん近い避難所がどこか知っていますか。

4　問6（3点）

イ（had）

答え: イ (had)

・あとに "we **would** check the way every month" とある。〈If ＋ 主語 ＋ **過去形** 〜, 主語 ＋ **would** ＋ 動詞の原形 …〉は、**現実とは違うこと**を「もし〜なら…するのに」と仮定する**仮定法**。

・平日は忙しく、時間がないのが現実。"If we (had) more time" ＝「もしわたしたちにもっと時間があれば」。

・have や will have（現在・未来の形）では、would の文とつながらない。having は動詞の形として文にならない。

4　問7（5点）

（解答例）You should visit the Disaster Prevention Center. You can experience an earthquake there.

解答例: You should visit the Disaster Prevention Center. You can experience an earthquake there.
訳: 防災センターを訪れるといいですよ。そこでは地震を体験できます。
採点ポイント:
・1文目は **Why don't you 〜?** または **You should 〜.** を使ってすすめている（例: Why don't you join the disaster drill in your town?）
・2文目は、そこでできること（You can 〜 there.）や理由（Because 〜）が具体的に書けている
・全体で2文
・文法・スペルの正確さ

5　問1（3点）

イ

答え: イ
・"When I was eight, my father took me there" より、Ken は8歳のとき、父とその丘に行った（イ）。
・ア：写真をとって送ったのは Ken。父が月の写真をとったとは書かれていない。
・ウ：先月、丘に行ったのは友だちではなく sister（姉または妹）と。
・エ：The hill is not famous（有名ではない）と書かれている。

5　問2（3点）

ア

答え: ア
・Ken は写真に "Let's go there together next summer."（来年の夏、いっしょにそこへ行こう）と書いた。父ともう一度その丘に行きたい気持ち（ア）。
・イ：新しい望遠鏡がほしいとは書かれていない。ウ：父は別の都市で働いているが、Ken が引っ越したいとは書かれていない。エ：姉（妹）に写真をとってもらいたいという内容はない。

5　問3（6点）

（解答例）① My favorite place is the beach near my house. ② I often go there with my family. The sea is beautiful, and I feel relaxed there.

解答例: ① My favorite place is the beach near my house. ② I often go there with my family. The sea is beautiful, and I feel relaxed there.
訳: ①わたしのお気に入りの場所は、家の近くの海岸です。②わたしはよく家族とそこへ行きます。海は美しく、そこではリラックスできます。
採点ポイント:
・①は **My favorite place is** で始まる1文で、場所が具体的に書けている
・②は2文以上で、その場所が好きな理由（できること・思い出・気持ちなど）が具体的に書けている
・全体で3文以上
・文法・スペルの正確さ